The sun will shine again. ～太陽はまた輝く～

校長　桑野 啓子

学園だより3月号をお届けする時期を迎えました。2021年度も、昨年度に続き、変化や変更、制限のある一年でした。しかしながら、保護者、地域のみなさんが、学園に寄せてくださるあたたかいご支援のお気持ちに励ましていただきまして、1508 名の子どもたちと120名を超える教職員みんなで今日まで進んでくることができました。ご家庭での日々の検温や体調管理へのご協力も大変ありがたく心強かったです。地域のみなさんには、「校区たんけん」でお世話になりました。いろいろなことができない状況の中にあって、1～6年の子どもたちが思い思いに校区内をめぐりました。快晴の中で、子どもたちが笑顔で元気いっぱいに、ディスタンスをとって外で活動する機会をつくっていただきましたことは、本当にありがたいことと感激いたしました。

また学園フェスティバルは限定公開の youTube 配信で1～9年の取組をご紹介いたしました。新たに始まった tomoLinks で、「子どもたちの頑張りが見られてよかった。」「フェス実施のための工夫が嬉しかった。」等のお声も届けていただき、大変ありがたいことでした。PTA のみなさんから、感染拡大防止のために、多数の消毒液を頂戴しました。学園の42クラスみんなで、せっせと消毒につとめており、ストックも少なくなった頃に寄贈していただきましたので、こちらも大変ありがたかったです。また「2021彩都の丘学園」の名入れのあるタブレットのブルーのタッチペンを全員が頂戴しました。タブレットを用いての学習もどんどん増えており、導入された tomoLinks での学習時、お家での宿題や課題の取組の際に、大いに活用させていただけるタッチペンの寄贈も重ねてありがたいことでした。

昨年度よりも今年度はより一層オンライン授業、オンライン懇談等々にご対応いただきました。tomoLinks も、市内でも最も速く、保護者のみなさんがご対応くださいました。不安な日々は続いておりますが、保護者のみなさんのご理解とご協力に支えていただきながら、「子どもたちの学びのために」の一心で、学園も、まずはやってみる、そしてその中で課題を見つける。そして課題克服のために、知恵と工夫でまたやってみる…を今後も繰り返して参ります。ピンチの状況も新しいことにトライするチャンスととらえて、進んでいきたいと考えます。

3月11日には11期生の卒業証書授与式を挙行いたします。1～8年生の子どもたちと一緒に、心をこめて9年生104名を送り出します。9年生は、「9年生プロジェクト」等で学園のリーダーとして、この不確かな日々の中でも、できることを見いだして、行動しました。「9年生を送る会」や「卒業おめでとう掲示板」等の取組も準備中です。昨年度の3月にも「The sun will shine again.～太陽はまた輝く～」という言葉をご紹介しました。「止まない雨はない」「あけない夜はない」という言葉もございます。今年度も多くのご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝し、来る2022年度も、「太陽はまた輝く」を胸に刻み、子どもたち、保護者、地域のみなさんとともに進んで参りたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いします。